

# 正福寺報

平成 31 年正月号

臨濟宗 円覚寺派

住職 松原 行樹

TEL 045-811-3800

FAX 045-811-6304

shouhukuji@nifty.com

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町 3 4 0

<http://shouhukuji.com/>

## とどまらない

正福寺住職 松原 行樹ぎょうじゅ

人は良いことがあればずっとその  
気持ちは保ちたいと思えますが、禅  
の教えはそれを戒めます。

幕末明治に生きた禅僧に原坦山  
(はら・たんざん) がいます。

彼が若いとき、戒律を厳しく守る  
親友の僧と二人で、全国に良き師を  
求めて旅に出た時のこと。

橋のない川に出くわし、渡りかね  
て困っている若い女性を、坦山はた  
めらうこともなく、抱えて向こう岸  
まで渡してあげました。

それを見ていた同輩は、その後も  
坦山と歩いていきますが、どこか怪  
訝(げげん) そうな表情です。

しばらくすると同輩は坦山に、  
「お前の行為は破戒だ！」

と、罵りました。出家の身でありな  
がら、女性を抱えたからです。

しかし坦山は涼しい顔をして、  
「俺はもう女性を下(おろ)したけ  
れど、お前はまだ女性を抱えている  
のか」と話し、同輩は深く反省した  
ということでした。

坦山が女性を向こう岸まで渡して  
あげて、「あーいい女性だったなあ」  
といつまでも余韻に浸っているよう  
であれば、それは執着です。

しかし心に痕跡を残さない、心を  
とどめないことが大切です。

良いことをしたとしても、そこに  
とどまれば有頂天になり、逆に悪い  
ことがあってもそこにとどまれば失  
意となります。

過ぎ去ったことを追うことなかれ。  
心をとどめず、今なすべきことを  
熱心になしていききたいものです。